

～戦争のないまちづくりをめざして～

8/6 無防備地域宣言運動シンポジウム

文化のまち京都から世界に平和を発信しよう

軍備によってではなく、戦争に協力しないことによって、私たちの住む町の平和を創っていかうという運動が、今注目されています。昨年4月に大阪市から始まった無防備地域宣言をめざす運動は、北海道から沖縄まで20を超える自治体で、住民の地域ぐるみの運動として取り組まれつつあります。

京都市でも、この秋の取り組みをめざし、準備が進められています。

今回は、スイスから「脱軍事化を求める協会」のクリストフ・バルビーさんを迎え、シンポジウムを開催します。各地での無防備地域宣言をめざす直接請求署名運動の取り組みと意義を学べる機会です。ぜひご参加ください。

【私たちは呼び掛けます】

阿部ひろ江(シンガーソングライター、ギャラリー、エイコンズビレッジ経営)、岩佐英夫(弁護士)、宇山進(日本基督教団牧師)、谷本千里(カトリック信者)、河原よしみ(RAFIQ[在日難民との共生ネットワーク])、木戸衛一(大阪大学教授)、工藤美彌子(東西本願寺を結ぶ非戦平和共同行動)、小林聡(日本聖公会司祭)、澤野義一(大阪経済法科大学教授)、佐藤恵(カトリック正義と平和京都協議会)、島本須美子、末川清(立命館大学名誉教授)、鈴江敏郎(劇作家)、須田稔(国際人権活動日本委員会代表委員/非核の政府を求める京都の会常任世話人/憲法9条・メッセージ・プロジェクト事務局長/立命館大学名誉教授)、出口治男(弁護士)、戸塚悦朗(龍谷大学教授)、西野猛生(カトリック京都教区司祭)、野坂昭生(闘う国労闘争団を支援する京都の会会長)、朴鎮文(アジア文化センター)、橋本瑠璃子(カトリック正義と平和京都協議会)、服部待(守ろう憲法と平和京都ネット共同代表)、府上征三(洛陽教会牧師)、本庄豊(京都歴史教育者協議会事務局長)、村上聖子、山内敏弘(龍谷大学教授) ※50音順、敬称略

【シンポジウム・パネラー】

クリストフ・バルビー (スイス)

「軍隊のないスイス」をめざして実施された国民投票運動の提唱者の一人。『脱軍事化と軍隊のない国家』著者。コスタリカ、モルジブなど国連加盟国中15%を占める27の非武装諸国が集まり、サミットに対抗する「ピース27」会議の開催や、国際共同宣言を出す取組みを進めている。

澤野義一

無防備地域宣言をめざす京都市民の会呼びかけ人代表。大阪経済法科大学法学部教授。憲法、平和学の研究。京都市での無防備平和条例の意義について報告。

豊田護

週刊MDS記者。地方公務員。イラク戦争前後6回にわたりイラクを訪問。非暴力で占領と闘う市民レジスタンスを取材。

8 / 6(土) 13:30開場 14:00開会 500円

■会場：京都アスニー (丸太町七本松、京都市中央図書館隣)

無防備地域宣言をめざす京都市民の会

(連絡先) 〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1 ひとまち交流館2階 京都市市民活動総合センター内
電話：070-5658-4408 (石田)